

4 国有林の土壤調査

1 試験担当者

本場土壤調査部長：橋本与良

〃 土壤調査部土壌調査科長：黒島 忠

〃 〃 土壌第一研究室：松井光雄，久保哲茂，小島俊郎，海沼秋美

〃 〃 土壌第二研究室：新名謙之助

〃 〃 土壌第三研究室：真下育久

〃 〃 地質研究室：木立正詞

北海道支場土壤研究室：藏本正義，山本肇

東北支場森林第三研究室：山谷季一

関西支場土壤研究室：河田 弘

四国支場土壤研究室：庭田四郎，井上輝一郎

2 試験目的

国有林土壤調査事業の推進およびその成果と技術の向上をはかること。また、土壤調査成果の多角的利用をはかるため、累積した成果の地域的ならびに全国的とりまとめ方法を検討する。

3 昭和42年度の経過とえられた結果

1) 現地指導および協議

北見，帯広，旭川，札幌，前橋，名古屋，大阪，熊本の各営林局について、第一次土壤調査現地指導、立地級調査指導、今後の土壤調査運営に関する協議などを実施した。

2) 報告書の審査および土壤図印刷の指導

報告書の審査は20事業区を終了し、長野，函館，帯広，青森，秋田，東京，大阪各営林局実施の土壤図印刷業務の指導、校正を行なった。

3) 林野土壤断面図集(2)の編纂

掲載51断面の各層位別化学的性質の分析、母材別、粘土試験、土性等理学性の測定等を行なうとともに、必要記載事項の原稿のとりまとめを行ない、印刷、刊行を終了した。

4) その他関連事項

沖縄技術援助の一環として、琉球政府林務課、管内各営林署、同林業試験場に対し、林野土壤調査方法の現地指導を実施し、主要地域の森林土壤について分類の大綱を定めた。

4 昭和43年度の試験計画

前年度にひきつづき下記項目を実施する。

1) 現地指導および協議

北海道、前橋、熊本各局管内について重点的に指導を行なう。他局については立地級調査に関する指導および既往成果のとりまとめの指導に重点をおく。

2) 報告書の審査 約50報告

3) 分析、母材別 約100点

4) 亜熱帯森林土壤分類については奄美群島ならびに別途採取の沖縄諸島試料などについて検討する。

なお、こんごの問題点として

1)、第一次調査終了営林局のこんごの調査内容および技術保存方法

2)、既往成果による局単位(地域別)および全国森林土壤図編さんへの促進

3)、調査成果(土壤)の生産力的評価

4)、褐色森林土群、および黒色土壤群の地域的特性を歩わす亜群設定の検討

5)、小笠原、沖縄返還を想定した、亜熱帯地域の森林土壤の分類および適木選定基準の確立。

6)、土壤図印刷の営林局実施にともなう諸問題。